

議会からのお知らせ

議会情報をお伝えします。

議案番号	件名	議決の結果
第39号議案	平城小学校屋内運動場空調整備工事請負契約について	原案可決
第40号議案	城辺小学校屋内運動場空調整備工事請負契約について	原案可決
第41号議案	御荘中学校屋内運動場空調整備工事請負契約について	原案可決

※諮問第1号により、人権擁護委員候補者に飯田豊一^{とよかず}氏を推薦することについて適任と決定しました。

詳しくは、町ホームページに公開予定の会議録によりご確認ください。なお、議会のインターネット中継は町ホームページから専用サイト(愛媛CATV)にアクセスすることでご覧いただけますのでぜひご利用ください。



愛媛CATV
ホーム
ページ



「キャリートップ」 かずのり 大野工業 大野和則さん

創業65年を迎え、町の鉄工所として長きにわたり経営している大野工業。その長い歴史の中でも、38年前に生み出した『キャリートップ』は、町内のみならず全国に広がり、農家の倉庫内作業を劇的に効率化させた看板商品。父の定俊^{さだとし}さんから受け継いだ技術と思いを胸に、4年前から和則さんが工場の経営をしています。

「みかん農家の作業を少しでも楽にしたい」との思いを持っていた父の定俊さんは、収穫だけでなく倉庫内での運搬や保管にも大きな労力がかかっているという現場の課題に着目。鉄工職人の技術と知恵を生かし、収穫コンテナを積み上げたままスムーズに移動できる運搬機の開発に取り掛かりました。重い荷物でも安定した状態で移動ができるよう改良を重ね、ペダルを踏むだけで200kgの荷物でも水平を保ったまま持ち上げることができる独自の機構は開発当初からの特許技術であり、使いやすさと安全性を両立しています。

みかん農家のために開発した商品ですが、あまりにも利便性が高いことから、収穫コンテナを使用する農家の間で評判が広がり、北海道から鹿児島島の離島まで、全国に3,000台以上を送り出してきました。現在では、年間約100台のキャリートップを製造。ネット販売にも取り組んでおり、「こんなにも良いものがあるのかと、もっと多くの人に知ってもらいたい」と話す和則さん。現場で長く使われる商品だからこそ品質へのこだわりは欠かせず、部品の加工から組み立てまで全てを自身が手がけています。実際に使用している農家から、「これほど買ってよかったものはない」と感想が直接届けられることもあるそうで、モノづくりに携わる職人として喜びとやりがいを感じる瞬間と話します。

農家の負担を減らし、作業をより快適にする1台を届けるため、大野工業の現場に寄り添うモノづくりはこれからも続きます。



▲父の発明品『キャリートップ』を握る大野さん



▲最大でコンテナ7段を持ち上げ、狭い場所でも抜群の機動性を発揮



▲一切の妥協を許さないという熱い眼差しで一台一台丁寧に仕上げる大野さん



愛媛CATV
動画